

8/25 全国大会、世界大会の出場報告
千歳リトルシニア球団の3選手



市内の中学生混合公式野球チーム「千歳リトルシニア球団」に所属する選手3人が、道や国の代表として全国大会、世界大会に出場し、報告のため市役所を訪れました。榎本 みのりさんと金谷 琉衣さん（ともに勇舞中2年）は、「北海道 Girls」の一員として7月に佐賀県などで開催された「第9回 Girls ChampionShip」に出場しました。中村 陽希さん（富丘中3年）は、U-15 リトルシニア日本代表に北海道から唯一選出され、7月にフランスで開催された世界大会に出場。ヨーロッパの強豪を相手に、見事全勝での優勝を飾りました。中村さんは、決勝のドイツ戦でツーベースヒットを放つなど、チームの勝利に貢献。今後は道外の強豪校に進学予定であり、「将来は大学を経てプロを目指したい」と語りました。

8/22 千歳市×株式会社コンサドーレ
連携協定を締結



千歳市と株式会社コンサドーレは、双方の資源を有効に活用した協働活動を推進し、地域の活性化や市民サービスの向上を図ることを目的に連携協定を締結しました。同社の石水 創 代表取締役社長は「両者の強みを最大限活かし、千歳市の未来を、地域住民の皆様とともにつくり上げたい」とコメント。同日には、「Souplesse presents 千歳市空港開港 100 年アニバーサリーマッチ」として、明治安田生命 J2 リーグ第3節のRB 大宮アルディージャ戦が開催。かつてサッカー少年だった横田市長によるマッチボールセレモニーが行われ、記念すべき一戦に華を添えました。



8/6 道の駅がとうきびに乗っ取られた！？
「道の駅コーンパーク千歳」開催



道の駅サーモンパーク千歳で8月3日から23日、期間限定イベント「道の駅コーンパーク千歳」が開催されました。会場には夏の北海道を象徴する味覚・とうきびがずらり。「とうきび早むき大会」や「わんことうきび大会」など体験型企画も盛りだくさんで、会場は大盛り上がりを見せました。「訳ありとうきび詰め放題」でこの日最高記録となる15本を達成したまつ浦 善くん（小学3年生）は、「8人家族なので最低でも8本は持ち帰りがかった。思ったよりたくさん詰められて良かった」と満足げ。千歳産とうきび丸ごと一本を贅沢に使った「もろもろこしらえ」や「まるでコーンなカレーパン」など、限定グルメも人気を集め、多くの来場者でにぎわいました。

8/19 千歳ボクシングジム所属 伊藤 春姫さん
新たな日本チャンピオンが誕生



千歳ボクシングジム所属の伊藤 春姫さん（千歳第二小5年）が、京都府で開催された「第13回 全日本 UJ ボクシング王座決定戦」の小学生女子37キログ級で見事優勝を果たしました。兄と姉の影響で、幼稚園年長から競技を始めた伊藤さん。週4日のジム通いに加え、自宅に設置したサンドバッグで練習に励んできました。同ジムの川上会長も「抜群の当て感とパンチ力があり、年上の男子も倒すほど」と太鼓判を押します。プロボクシングの井上 尚弥選手に憧れる伊藤さんは、「次は相手を圧倒して勝ちたい」と語り、夢のオリンピック出場に向けて力強い一歩を踏み出しました。

人のうき
《総人口》
97,398人(+257)
男性 49,673人(+168)
女性 47,725人(+89)
《世帯》53,664世帯(+160)
()内は、前月との比較です。
9-1 現在

広報ちとせからのお知らせ
広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。
広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

ちとせ空港
百年物語
Vol. 41 アフターコロナの新千歳空港
手づくりの着陸場から新千歳空港へ 開港100年の歴史を振り返る
2年4か月の歲月
コロナ禍の時代、緊急事態宣言の発令や水際対策などにより航空需要は低迷し、拡張したばかりの国際線ターミナルビルも閑散とした状態が続いていました。
全便が運休していた国際定期便は、再開までに実に2年4か月の歲月を要しました。
この間、北海道観光の人氣再燃やラピダス社の千歳進出などにより、新千歳空港を訪れる人やその目的は、より多様化していきました。
令和5年12月には、新たな需要を見込み国際線ターミナル北側にビジネスジェット専用ターミナルを開設。さらに今年、令和8年は、パンクー空が仁川線を再開すると、台湾や香港などのアジア路線も続々と再開していきまします。令和5年5月には新型コロナウ
V字回復
令和4年7月、大韓航空が仁川線を再開すると、台湾や香港などのアジア路線も続々と再開していきまします。令和5年5月には新型コロナウ
国際線ターミナルビル外観
イルス感染症の位置づけが「5類感染症」に変更されたこともあって国内線も復調し、新千歳空港の旅客数はV字回復を遂げました。令和7年の合計旅客数は約2585万人となり、過去最高を記録。うち国際線では、対前年比23%増の約436万人を記録しています。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。



7/28 白銀 奏音さんに最優秀賞
ふるさとポケット絵画展選考会

生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」で恒例の、小学生による絵画展。その入選作品を決める選考会が市内の小学1～3年生の作品を対象に開かれ、過去最多の応募作品1,042点の中から白銀 奏音さん（北陽小3年）の作品が最優秀賞に輝きました。作品は、奏音さんと友人が乗る飛行機が千歳のまちから飛び立っていく様子を描いたもの。飛行機の垂直尾翼には「100」の文字が書かれ、手を振る人々や太陽、雲の笑顔とともに千歳市空港開港100年のお祝いムードを演出しています。7月28日開催のお披露目会にて奏音さんは、「千歳といえば飛行機。友達と一緒に乗りたいと思って、飛行機を描きました」と振り返り、「受賞できたことをとてもうれしく思います」と喜びを話しました。作品は、ふるさとポケットをPRするポスターに使用され、市内の公共施設や学校に掲示されています。ふるさとポケットは、9月27日にグリーンベルトで開催予定です。